

『陸上競技の聖地』 創造プロデューサーに原口幸一さん！



▲原口幸一さんと東町長

現在、県が有明高校跡地に整備中の『大隅陸上競技トレーニング拠点施設（仮称）』への陸上合宿の誘致をするため、町では『陸上競技の聖地』実現プロジェクトを進めています。

9月1日（木）、同プロジェクトの推進役として、本町出身の原口幸一さんに委嘱され、その交付式が役場で行われました。

原口さんは長距離走が専門で、これまで数々の駅伝大会や国際マラソン大会に出場された後、久留米工業大学の女子駅伝部の監督を務めるなどの実績があります。抱負を尋ねると「簡単にはいかないと思いますが、とてもやりがいのある仕事なので頑張ります。」と話しました。

全国大会へ出場決定！頑張ってください！

9月2日（金）、霧島市の始良家畜中央市場において開催された『九州・沖縄地区牛^{まき}削蹄競技大会』に出場した稲村さんと山下さんが9月6日（火）、結果報告のため役場へ来庁されました。

同大会では、稲村さんが優勝、山下さんが9位入賞し、揃って全国大会への出場を決めました。

稲村さんは「緊張せずにいつも通りできた。」と今大会を振り返り、山下さんは「出場者の実力はほぼ同じ。全国大会も頑張りたい。」と話しました。全国大会は11月10日に茨城県で開催され、お二人の活躍が期待されます。



▲写真左から、東町長、稲村さん、山下さん、曾於地区削蹄師会 東会長



▲肥料が配布されました

9月10日は『下水道の日』

9月7日（水）、役場水道課前の駐車場において、『下水道の日』（9月10日）の普及活動の一環として、下水道処理で発生した汚泥を発酵肥料にした『甦いる（そいる）大崎』の無料配布が行われました。

これは、広報おおさき7月号において周知を行い、事前申込をされた先着78名が対象で、1世帯当たり3袋が配布されました。受け取った住民は「家庭菜園で使いたいです。」と話しました。